

クイックオート ネオ Fe

【全般的な注意】

1. 本品は、体外診断用医薬品でありそれ以外の目的に使用しないでください。
2. 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断してください。
3. 電子化された添付文書以外の使用方法については保証を致しません。
4. 使用する機器の電子化された添付文書及び取扱説明書をよく読んでから使用してください。

【形状・構造等（キットの構成）】

R-I 還元剤液

R-II 呈色液

2-ニトロソ-5- (N-プロピル-N-スルホプロピルアミノ) -フェノール [略名: Nitroso-PSAP]

【使用目的】

血清又は血漿中の鉄の測定

【測定原理】

本品は高感度キレート剤 (Nitroso-PSAP) ¹⁾ ²⁾ を用いて開発された血清又は血漿中の鉄 (Fe) を測定する試薬です。検体中の鉄はグロブリン中のトランスフェリンと結合しています。このトランスフェリンと結合している Fe^{3+} を酸性下で遊離させ、還元剤 (アスコルビン酸) で Fe^{2+} に還元します。 Fe^{2+} は 2-ニトロソ-5- (N-プロピル-N-スルホプロピルアミノ) -フェノール (Nitroso-PSAP) とキレート化合物を作り発色します。

この色素を比色して血清鉄値を求めます。

【操作上の注意】

測定試料の性質、採取法

1. 検体は血清、血漿いずれでも使用できます。
2. EDTA (抗凝固剤) は、負の誤差を与えますので使用できません。
3. 採取後の検体は速やかに測定してください。検体を保存する場合は、冷蔵 (2~10℃) で 21 日、凍結保存で 6 か月間使用できます。³⁾

妨害物質・妨害薬剤^{注 i)}

1. 溶血検体の場合、測定結果に影響を与える場合がありますので、溶血検体の取扱いにつきましては、十分ご注意ください。
2. ビリルビン 20 mg/dL まで測定値にほとんど影響ありません。

【用法・用量（操作方法）】

試薬の調製方法

R-I・・・還元剤液をそのまま使用します。

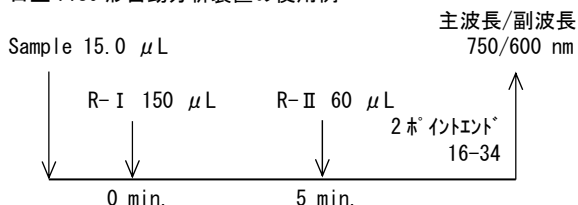
R-II・・・呈色液をそのまま使用します。

必要な器具・器材・試料等

検量用試料の詳細については販売元担当者にお問い合わせください。

測定（操作）法

日立 7180 形自動分析装置の使用例



(注) 自動分析装置の設定条件等詳細については、販売元担当者にお問い合わせください。

【測定結果の判定法】

1. 参考基準範囲（共用基準範囲）⁴⁾

40~188 $\mu\text{g/dL}$

2. 判定上の注意

- 1) 測定範囲を超える検体は、精製水又は生理食塩液で希釈した後測定してください。
- 2) 参考基準範囲は、臨床判断値と異なりますのでご注意ください。

【臨床的意義】

血中の鉄は再生不良性貧血、急性肝炎、肝硬変症及び慢性肝炎で高値を、鉄欠乏性貧血、慢性出血性貧血、真性多血症、感染症等で低値を示し、慢性腎炎、リウマチ性疾患等の一部でも減少します。⁵⁾

【性能】

性能

1. 感度・正確性・同時再現性

(1) 感度試験

- 1) 精製水を試料として操作した場合の吸光度は 0.1 以下です。
- 2) 既知濃度の標準液又は標準血清を試料として検量線を作成するとき、200 $\mu\text{g/dL}$ に対する吸光度は 0.07 ~0.10 の範囲内です。

(2) 正確性試験

既知濃度の管理用血清を測定するとき、既知濃度の $\pm 15\%$ 以内です。

(3) 同時再現性試験

同一検体を 5 回同時に測定するとき、吸光度の C.V. 値は 7% 以下です。

2. 測定範囲^{注 ii)}

2~1000 $\mu\text{g/dL}$

相関性試験成績^{注 iii)}

1. 血清検体

x: 既存製品

y: 本品

n=60

y=0.974x+4

r=0.995

2. 血漿検体

x: 他社 フェレン法

y: 本品

n=60

y=0.976x+7

r=0.998

較正用基準物質

鉄標準液 (JCSS, CERI)

注 i, ii, iii) 特定の機種による試験結果のため、機種によっては同様の結果を得られない場合があります。詳細は、販売元担当者にお問い合わせください。

【使用上又は取扱い上の注意】

** 取扱い上（危険防止）の注意

1. 検体は HIV、HBV、HCV 等の感染の恐れがあるものとして取り扱ってください。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用し、また口によるビベッティングを行わないでください。
2. 還元剤液は酸性です。使用に際しては、試薬が直接皮膚に付着したり、目に入らないよう注意してください。

3. 試薬が誤って目や口に入った場合には、水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当等を受けてください。

使用上の注意

1. 本品は凍結を避け、貯蔵方法に従い保存してください。誤って凍結させた試薬は、品質が変化して正しい結果が得られない場合がありますので使用しないでください。
2. 使用期限を過ぎた試薬は使用しないでください。
3. 開封後、4 週間以内に使用してください。保存環境により変動することがありますのでご注意ください。
4. 試薬の注ぎ足しは行わないでください。
5. 容器を再利用したり他の目的に転用しないでください。

廃棄上の注意

1. 検体中には HIV、HBV、HCV 等の感染性のものが存在する場合がありますので、廃液、使用済み器具などは次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度 1000 ppm、1 時間以上浸漬）又はグルタルアルデヒド（2%、1 時間以上浸漬）による消毒処理あるいはオートクレーブ（121℃、20 分以上）による滅菌処理を行ってください。
2. 検体又は検体を含む溶液が飛散した場合、80%のアルコールスプレー等で拭き取ってください。
3. 還元剤液の pH は排水基準の 5.8 未満であり、呈色液には Nitroso-PSAP（フェノール類）を含有しています。廃棄にあたっては水質汚濁防止法等の規制に注意して処理してください。
4. 試薬及び器具類を廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に従って処理してください。

【貯蔵方法・有効期間】

貯蔵方法

2～8℃保存

有効期間

1 年間

【包装単位】

品名	識別記号	規格
統一商品コード		
クイックオート ネオ F e 7170		
595 400711 R-I 還元剤液		60 mL × 4
595 400728 R-II 呈色液		30 mL × 4
・「R-I 還元剤液」、「R-II 呈色液」は別売です。		
・別売：「生化学マルチキャリブレーター」 (統一商品コード 595 500008) 「F e 標準液 (200 µg/dL)」 (統一商品コード 595 400797)		

【主要文献】

1. 堀口大吉、他：日本分析化学会第 29 年会講演要旨集、3B21 (1980)
2. 松宮和人、他：臨床病理、29 (補冊)、p. 268 (1981)
3. 山崎浩和、他：検査と技術、40 (8)、p. 755-759 (2012)
4. 日本臨床検査標準協議会：日本における主要な臨床検査項目の共用基準範囲 (2019)
5. 北村元仕、他：実践臨床化学、増補版、医歯薬出版、東京、p. 174-187 (1982)

**【問い合わせ先】

PHC株式会社 インフォメーション担当
TEL : 03-6865-2500
E-mail : medi-ho-service@gg.phchd.com
(品質に関するお問い合わせの際は、製造番号を確認の上ご連絡ください。)

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所】

** 販売元

PHC株式会社

東京都千代田区有楽町1-13-2

製造販売元



株式会社 シノテスト

神奈川県相模原市南区大野台4-1-93

TEL : 0120-66-1141

(260114)